

【臨床研究名】 甲状腺リンパ腫における遺伝的因子の検討

伊藤病院とケンブリッジ大学との共同研究として以下の臨床研究を予定しています。

【研究の実施体制 - 研究機関の名称と研究者】

1. 研究責任者 ケンブリッジ大学 病理部 Ming-Qing Du 教授
2. 研究分担者 伊藤病院 内科医長 渡邊奈津子

【研究の目的、意義および科学的合理性の根拠】

甲状腺に発生するリンパ腫は甲状腺悪性腫瘍の 2-8%を占め、節外性リンパ腫の 1-2% の稀な悪性リンパ腫であるとされています。このように、甲状腺に発生するリンパ腫は非常に珍しいため、発症する理由や病状に影響する遺伝的因子についてはほとんどわかっていませんでした。

このため、リンパ腫の研究を多数行っているケンブリッジ大学病理部教授の Ming-Qing Du 先生との共同研究により、甲状腺リンパ腫の約 50%を占める MALT リンパ腫について、病理遺伝的因子（体細胞変化）の検討を行ってきました。

さらに、本研究においては、MALT リンパ腫以外の甲状腺リンパ腫の主なタイプであるびまん性大細胞型 B 細胞性リンパ腫および濾胞性リンパ腫を対象に加え、これらリンパ腫の病理遺伝的因子の検討を行います。

【研究の対象】

伊藤病院（以下、「当院」といいます）で手術を行い甲状腺リンパ腫と診断された方です。新たに患者様から検体を採取するものではありません。

【研究の方法】

当院での手術で得られた標本より、ケンブリッジ大学病理部において DNA の抽出を行います。その後、遺伝子解析を行い、解析結果と甲状腺リンパ腫の病状や経過との関係をしらべます。

【試料等の保管】

この研究で用いた情報は、研究終了後は匿名化されていること、個人情報特定できないことを確認した上で破棄いたします。

【予想される不利益及び利益】

すでに手術でえられた組織を用いるため、対象となった患者様にリスクはないと考えられます。本研究での利益は現時点では明らかではありません。今後、研究がすすむことによって本研究結果より経過を予測する因子が確立されるなど、はっきりとした成果がえられた場合、同じ病気の患者様に将来利益となる可能性があります。

【研究協力の任意性と撤回の自由について】

この研究に協力されるかは、患者様の自由意思で決めることができます。また一旦同意いただいた場合でもいつでも同意を取り消すことができます。試料や情報がこの研究に使用されることについてご了承いただけない場合は研究対象としませんので、下記の連絡先までお知らせください。研究に協力されない場合も患者様に不利益が生じることはありません。

【費用について】

本研究の実施にあたり患者様への費用が生じることはありません。また特定の企業との利害関係はございません。

この研究について、お問い合わせ等がございましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

【問い合わせ・連絡先】

伊藤病院

内科医長 渡邊奈津子

電話 03-3402-7411

Fax 03-3402-7439